

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名 No. 580311 資料館施設管理事業		主管課名 教育行政課								
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし		課長名 神谷 浩一						
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち								
		基本事業	文化財の保存と活用								
	(1)事業の概要										
	来館者の利便向上と館蔵資料の保護保全、適正な施設管理を図るため、老朽化した施設の整備・機器を整備充実する。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)							
				名称	単位						
				設備機器保守点検及び管理に関わる業務件数	件						
				開館日数	日						
				その指標							
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		施設設備機器保守点検に関わる業務・・・3業務(委託契約、業務監理、委託料支払い、完了確認) 施設管理に関わる業務・・・6業務(委託契約、修繕工事、業務監理、委託料支払い、完了確認)									
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)								
資料館(本館・木造棟・収蔵庫・石川家住宅) 市民			名称	単位							
			資料館の面積	m ²							
			人口	人							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)								
展示会等を見学するために住民の皆さんに来館してもらう。			名称	単位							
			入館者数	人							
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)								
伝統文化を保護保存し次代に継承する。			名称	単位							
			伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合	%							
			伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合	%							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の活動指標		件	10	10	10	10	10	10			
		日	308	305	305	305	305	305			
(6)の対象指標		m ²	1,824	1,824	1,824	1,824	1,824	1,824			
		人	59,141	59,474	60,200	60,800	61,400	62,000			
(7)の成果指標		人	3,800	5,019	5,100	5,200	5,300	5,400			
(8)の結果の成果指標		%	74	62	74	74	74	74			
		%	50	53	50	50	50	50			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	07
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	6,040	5,630	6,468	9,073	8,273	7,118			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	2	2	0	0	0			
	一般財源	千円	6,040	5,628	6,466	9,073	8,273	7,118			
人件費B		千円	3,948	4,827	4,827	4,827	4,827	4,827			
正職員従事時間×人数		時間×人	262×4	217×6	217×6	217×6	217×6	217×6			
正職員以外の人件費		千円	0								
その他費用C		千円	215	214	214	214	214	214			
トータルコストA+B+C		千円	10,203	10,671	11,509	14,114	13,314	12,159			
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/ m ²	6	6	6	8	7	7				
	千円/ 人	0	0	0	0	0	0				
	千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580311 資料館施設管理事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和57年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 資料館利用者から資料館の位置が分かりにくいという苦情が多く寄せられているため、道路看板等の設置要望が出されている。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 昭和57年4月、資料館の開館とともに開始した。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し開館以来、館内外の大規模な改修をしていない 変化している 変化した内容のため、老朽化が進行している。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 文化財保護法、みよし市立歴史民俗資料館設置条例 この事務を行う根拠又は理由 博物館法に基づく公立博物館の類似施設として、その維持管理は設置者の市の負担で行う。	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	理由又は内容	市役所周辺の社会教育施設を統合すれば、利用者の利便がよくなり、入館者の増になる。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	内容	市役所周辺の社会教育施設を統合すれば、維持管理費の削減ができる。
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	内容	市役所周辺の社会教育施設を統合すれば、維持管理業務をまとめることができ、人件費の削減につながる。
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	資料館は昭和57年11月に開館し31年が経過しており、施設設備の老朽化が進み、利用者の利便向上を図るため、適宜設備機器の補修と拡充を継続し、施設環境の維持保全を行っている。資料館の適正な維持管理を図る必要がある。					